



ハンガリー政府観光局 ニュース 2013年3月14日 No 240

- CNN Travel 一押しの ブダペスト国際マラソン(10月13日)
- ブダペスト エルケル劇場再開
- ブダペスト交通局 お得な 24 時間グループ・トラベルカード
- JATA 地方巡回欧州セミナー(業界向け)
- コラム:連載第4回「語学学校」

### ●CNN Travel 一押しの ブダペスト国際マラソン(10月13日)

CNN Travel は走ることの楽しみをより一層深める異国情緒あふれた一押しのマラソンを月毎に12レース紹介していますが、10月のお勧めは**世界遺産を巡る、ブダペスト国際マラソン**。

<http://travel.cnn.com/running-around-world-132356>

ブダペスト国際マラソンは1984年の初開催から今年で28回目となり60カ国から19,000のランナーが参加する国際レースへと成長しました。

フルマラソンのコースは、英雄広場をスタートし、アンドラーシ通りからドナウ河岸へ抜け、両河岸を走った後再び英雄広場へ戻るように設定されており、まさに世界遺産を走り抜けます。

エントリー費用(ユーロ)は支払時期とレース距離により異なり、以下のようになります。

	42km	30km
4/28 まで	60	40
8/18 まで	65	45
9/29 まで	70	50
10/9 まで	75	60
10/12・13	80	70



レースの詳細とエントリーは次の URL をご覧ください。

<http://www.budapestmarathon.com/en/marathon/raceinfo/> (英語)

### ●ブダペスト エルケル劇場再開

ハンガリー人作曲家エルケル・フェレンツの名を冠した**エルケル劇場**は、改装工事のため休業していましたが、この度公演を再開いたしました。

5月のプログラムを見ると、トウランドット、リゴレット、ドンカルロス、アイダ、裸の王様などの歌劇の他、モダンバレエなどが公演されます。

魅力的なのはその料金で、200HUF から 1,500HUF (100円から600円)で鑑賞できます。

チケットの購入は、オンラインチケット購入サイト <http://www.jegymester.hu/> (英語)から。



## ●ブダペスト交通局 お得な 24 時間グループ・トラベルカード

3 人から 5 人の利用に大変お得な 24 時間グループ・トラベルカード(24-hour group travelcard)が販売されています。(購入は地下鉄駅の出札所で)

このカードの値段は 3,300HUF(約 1,400 円)と通常の 24 時間トラベルカード(1,650HUF)の 2 倍に設定されており、3 人から 5 人の方が同一行動で利用する際に、大変お得です。

利用が可能な乗り物は、地下鉄・バス・トラム・トロリーバスの他、ブダペスト市内のハンガリー鉄道やヴォラーンバスのブダペスト市内の区間、さらに平日のドナウ航路(D11, D12, D13)です。

一点注意が必要なのは、**同行の 5 人がいつも同じ車両に乗車しなければならない点**です。



## ●JATA 地方巡回欧州セミナー(業界向け)

JATA 日本旅行業協会は、**Team Europe 地方巡回欧州販売セミナー**を 3 月 25 日から 4 月 11 日かけて全国 7 都市で開催します。

このセミナーは店舗・渉外セールスに携わる社員の知識向上とノウハウの蓄積を図り、各社のヨーロッパ方面の販売に寄与することを目的としています。

7 都市とは開催順に那覇、福岡、札幌、仙台、名古屋、大阪、岡山です。このセミナーの詳細や申し込み方法は下記のサイトをご覧ください。

[http://www.jata-net.or.jp/membership/topics/2013/130220\\_teuropesemi.html](http://www.jata-net.or.jp/membership/topics/2013/130220_teuropesemi.html)

多数のご参加をお待ちしております。

## ●コラム:連載第 4 回「語学学校」

ハンガリーへの留学経験のあるペンネーム「カコ」さんによるブダペストでの生活体験をコラムにまとめていただき連載することにいたしました。

### 第 4 回「語学学校」

もちろん話す相手によるのだが、ブダペストでは英語やドイツ語が通じることが多い。それでももちろんハンガリー語ができるに越したことはない。お店の看板や品物の表示がわかると便利だし、道路工事でバス停が移動しているなんてことがあったら、注意書きに気づかないで待ちぼうけになってしまう可能性もある。

私は、というと、留学前は日本で勉強したり現地のサマースクールに参加したりしてハンガリー語を学習した。それでもやはり語彙も少なく聞き取りも苦手だったので、滞在中も積極的に語学学校に通っていた。さらに自分がハンガリー語「教材」おたくなので(ハンガリー語おたくではない)、現地でどのようなカリキュラムがあるかに興味があったということもある。そのため滞在中は自分の都合に合わせて様々な語学学校や語学コースを試していた。

通った語学学校は 2 種類。予備校的な位置づけにある「バラッシ・インスティトゥート (<http://www.bbi.hu/hu/>)」と、デブレツェンが本拠地の「デブレツェン大学サマースクール・ブダペスト校 (<http://www.nyariegyetem.hu/bp/index.php>)」である。前者は午前・週 3 日コースに、後者はインテンシヴコース(午前・週 5 日コース)と、夜間・週 2 日コースの 2 種類に入った。そのほか個人のマンツーマンコースも利用したことがある。これらは日本で習うよりだいぶ格安であった。

感想。月並みな印象ではあるが、カリキュラム云々というよりは、授業は先生に負うところが大きい。加えて、クラスメイトによって雰囲気もかなり異なる。それでも、かなり限られた時間だったことを考えれば行ってよかった。さらに生徒に大学院生の留学生がいたので、ハンガリーに関心を持つ友人知人が増えたことも大きな収穫だった。彼らとは帰国後もコンタクトを取っている。

もちろん自分の主観だが、バラッシは 2 人の先生が授業を行い、基本教科書通りに進みつつも、物凄く細かい文化・歴史の話や語彙なども紹介してくれたように思う。寮も備えた「学校」なので、遠足やらクリスマス会も企画された。語学学校のほかにも翻訳コースなども開講されていると聞いている。一方、デブレツェンのほうは先生が 1 人なので、かなり教師個人の裁量にゆだねられていた。人数が少なければ教材も興味関心にあわせて選んでくれたのでありがたかった。映画やら絵本やら本やら、クラス終了後も継続して読んでいこうと思うようなものにたくさん出会えたのが嬉しい。

少し帰国後のこぼれ話を。とある教材にハンガリーの有名人インタビュー集があったのだが、帰ってきてすぐに通訳アルバイトで東京をアテンドしたのが、なんと授業中にインタビューを読んだ俳優さんであった。予備知識はバッチリである。こういう意外なところで、役立つこともあるのだ。

\*「この情報は 2011 年から 2012 年のものです。現在開講されているコースの詳細は各語学学校にお問い合わせください。」

## ハンガリー政府観光局

facebook: <http://www.facebook.com/HungaryTravelClubJP>

Twitter: [https://twitter.com/HNTO\\_JP](https://twitter.com/HNTO_JP)

## ヨーロッパカルテット ブログと facebook

ブログサイト: <http://www.europeanquartetblog.com/>

facebook: <http://www.facebook.com/EuropeanQuartet>